

# 「学校を基地に、みんなで取り組む地域の情報化」 - 子供も大人も豊かに生きる、学校を核とした地域情報教育システムの創造 -

宮城県栗原郡築館町立玉沢小学校 長崎 修一

<http://mago.trco.or.jp/tamasawa/>

キーワード 情報教育，開かれた学校づくり，学社融合，交流授業，地域ネットワークづくり

## 1. はじめに

情報化が急速に進む社会情勢の中で、子供たちにとっても大人にとっても、情報活用能力が必要不可欠なものになっている。学校では、インターネットや電子メールなどの情報ネットワークを活用した学習活動に積極的に取り組むことが期待されており、地域社会では、情報社会に生きる住民のための学習・活動の場を提供することが必要とされている。

このような状況の中で、学校で学ぶ子供たちの情報教育を充実させ、地域に生きる住民の情報活用能力を高めるために、学校と地域が連携・協力して、よりよい情報教育システムを構築すべく活動を進めてきた。学校の持つ教育機能を地域に開放したり、地域人材を積極的に学校教育の場に活用することで、学校に対する理解を深めるとともに、より良い協力関係を構築しようとしている。言うならば、学校と地域が融合して特色ある活動を展開する 21 世紀の教育の姿そのものである。

本実践の特徴は、活動の舞台を学校に設定し、様々な立場の人々や機関とのネットワークを重視して取り組んだことにある。多くの方々の協力を得ることにより、遠隔地の学校と共に取り組んだ「遠隔共同授業」や地域の人々の力を借りて実施した「パソコン教室」など、学校にとって貴重な実践を重ねることができた。また、地域の人々にとっては、地域の教育のシンボルである学校に親しみをもち子供たちと関わることで充実した活動が展開できた。

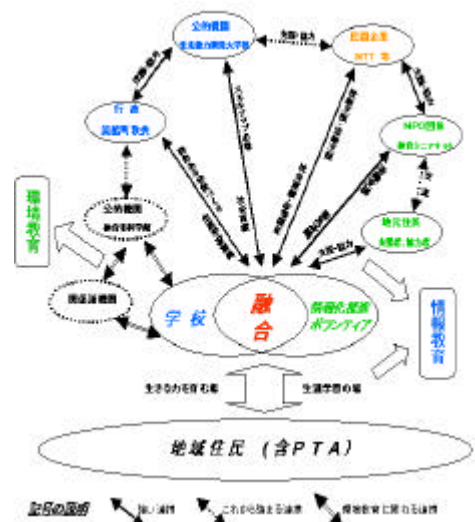
## 2. 実践にあたって

実践を進めるにあたり次のような基本構想をもとに取り組んできた。

- 1) 真に地域に開かれた学校の実現を目指していこう  
(学校開放，地域の教育力の活用)  
学社融合の視点を持った実践への取り組み
- 2) 広い視野でとらえる環境教育に取り組もう  
(遠隔共同授業，交流授業)  
情報通信を積極的に活用する遠隔共同授業等の取り組み
- 3) 地域の情報化を推進するしくみ作りをしよう  
(地域ボランティア)  
ボランティア活動を中心にした地域のしくみづくりの取り組み

こうした構想のもと、健やかな子供たちを育成し、人々の心豊かな生活を実現させるため、学校をキーステーションとして、地域づくり・まちづくりにつながる活動を展開してきた。地域の関連機関や団体との積極的なネットワークづくりを心がけてきたのも、地域が一体となった取り組みを実現させたいと考えたからである。

玉沢小の取り組みの概念図



## 3. 実践した内容

### (1) 実践事例 1 「地域へ開放したパソコン教室」

#### 1)ねらい

学校のパソコン室を活用し、保護者や地域の方々に情報学習の機会を提供すると共に、学校の教育活動への理解を深める。

2)実施日時 平成12年11月1日(水) 午後6時から8時半

3)内容 ・保護者及び地域住民対象の初歩のパソコン教室  
・パソコン操作の習熟を図るカリキュラム(年賀状づくり等)

4)指導 パソコンボランティア(仙台シニアネット, TAMA Net)

### (2) 実践事例 2 「テレビ会議システムを利用した交流学習」



## E スクエア・プロジェクト成果発表会

### 1)ねらい

遠隔地の学校や同じテーマで学習を進める学校と、情報通信設備を活用した交流学習を行い、教育活動の充実を図る。

### 2)実施日時 10月27日(金)【6年】

10月20日(金)・11月2日(木)他 計5回【4年】

### 3)内容 ・環境テーマ遠隔共同授業(北海道・西美唄小他4校)【6年】 ・地域の特性を生かした共同授業(和歌山・有功東小)【4年】

### 4)協力 パソコンボランティア(TAMA Net, 仙台シニアネット)

## (3) 実践事例3 「玉沢情報推進支援ネットワーク(TAMA Net)」

### 1)ねらい

学校と地域が一体となった情報教育支援グループであり、地域住民、高等教育機関の職員、民間企業の職員等、趣旨に賛同する者が集まり、学校や地域での情報教育推進に協力する。

### 2)活動 ・学校における情報関連学習への支援 ・地域住民対象のパソコン教室のサポーター 等

### 3)運営 自主的サークルとして運営 スキルアップの場を高等教育機関(東北職業能力開発大学校) 主な活動の場を小学校や中学校, 社会教育施設等を考えている。

### 4)協力 築館町教育委員会, 東北職業能力開発大学校, NTT東北宮城支店, 仙台シニアネットクラブ 等



## 4. 成果

本校では、今年度情報通信システムを活用した交流授業を実施した。6年生は昨年に引き続き環境をテーマにした「遠隔共同授業」に取り組み、4年生は新しく和歌山の小学校との「交流授業」に取り組んだ。複数校の児童とテレビ会議を通して互いの実践や考えを発表しあった6年生も、気候や方言の違いを目の当たりにした4年生も普通の学習では得られない貴重な体験ができ、学ぶことの楽しさを存分に味わった。現在、5年生の児童は、カリフォルニアの学校との交流を計画しているが、既にメールのやり取りを始めており大いに楽しみにしている。

昨年に引き続き、学校施設を活用した地域向けパソコン教室を実施したが、大変好評で今後も続けて欲しいとの要望が寄せられている。今回は、地域に立ち上げたボランティアグループ(TAMA Net)のメンバーも参加し、楽しい雰囲気の中で活動できた。今後は、地域の方々の要望に応えるためにも、初歩、初級、中級など段階に応じた教室の実施について検討していきたいと考えている。教わる方も教える方も大いに満足できた様子だった。

地域住民を中心に立ち上げた「玉沢情報推進支援ネットワーク(TAMA Net)」は、徐々にその活動の場を広げつつあり、2月には本校の低学年を対象にしたパソコンの学習(授業)にサポーターとして協力してくれることになっている。メンバーのスキルアップの場は東北職業能力開発大学校にお願いしており、施設や指導者の提供を受けている。活動に対する各方面からの理解も深まりつつあるが、今後もパソコン教室の受講修了者や地域に広く呼びかけ、さらにメンバーを増やしていきたいと考えている。



## 5. 課題

地域に開かれた学校として、地域向けのパソコン教室を開催したが、さらに多くの地域住民が気軽に参加できるように、内容や開催回数などを検討していきたい。そのことが、情報教育だけでなく、他の分野でも地域の方々の協力・支援をいただきながらの学校と地域が一体となった教育活動に結びついていくと考える。

児童の活動に関しては、遠隔共同授業の有効性・可能性について確かめることができた。遠く離れた地域の子供たちとリアルタイムで情報交換ができる体験は、子供たちにとって非常に魅力的な学習活動であった。今後は、環境、福祉、国際交流、など様々な分野で取り組み、互いの情報収集・発信から一歩進めた議論を交えた学習へと発展させたいと考えている。

地域ボランティアの「玉沢情報推進支援ネットワーク(TAMA Net)」では、さらに活動の充実を目指し、関係機関、民間企業、各種団体、そして地域向けのパソコン教室を受講した地域住民との間のネットワーク関係を広げていきたい。住みよいまちづくり、地域づくりを進めるために、学校を中心とした地域の人々の地道な活動が重要であることを、いろいろな機会をとらえて、さらに啓蒙していく必要がある。